

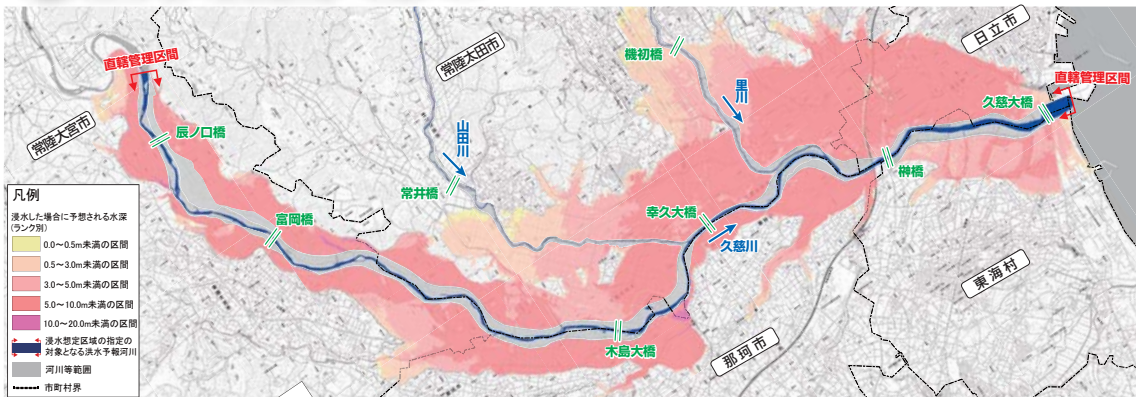
もし久慈川で氾濫が起こったら

現時点の情報から想定しうる最大規模の雨が降った時に…
どのような状況になるのか知っておきましょう

※久慈川流域における想定し得る最大規模の降雨は、久慈川流域2日間総雨量616mmを想定

① 浸水範囲・深さ

久慈川が氾濫した場合に、どこまで水が広がるか、またその時の最大の深さをシミュレーションを示した図です。

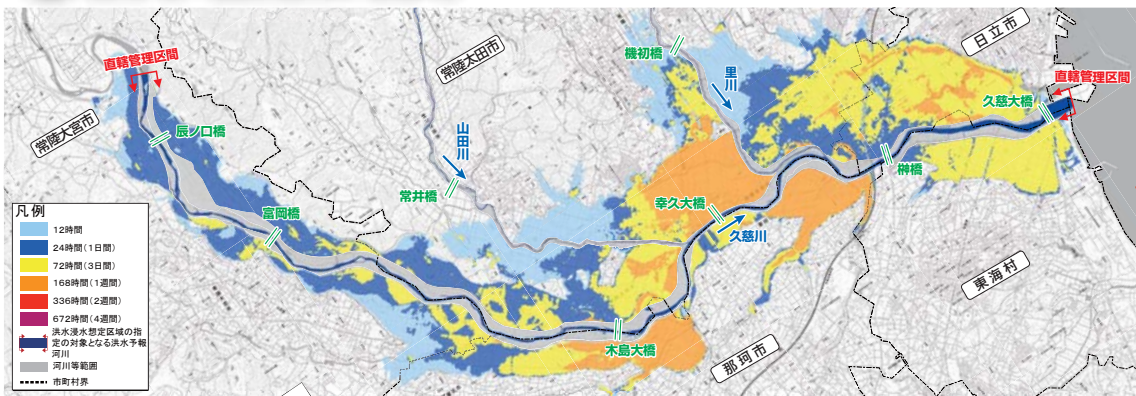


浸水深のランクは、一般的な家屋の2階が水没する5m、2階床下に相当する3m、1階床高に相当する0.5mなど、6段階に区分して色分けしています。



② 浸水継続時間

氾濫してきた水が引くまでに、どのくらい時間がかかるかを示した図です。



浸水深が0.5mを上回った時点から最終的に0.5mを下回るまでの通算時間を「浸水継続時間」としています。

③ 家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流・河岸侵食)

氾濫した水が、家などの建物を壊したり、勢いのある水が河岸を侵食する可能性のある範囲を示した図です。この区域では立ちのき避難の判断等が必要になります。



ここで示した各図は、一定の想定のもとに計算され、作成されています。各図の詳細な内容は国土交通省関東地方整備局常陸河川国道事務所ホームページへ



久慈川・那珂川流域における減災対策協議会

【問い合わせ先】



国土交通省 関東地方整備局 常陸河川国道事務所